

国語科学習指導計画

単元名：「かんさつ名人になろう」

単元の目標

◎丁寧に観察し、気付いたことや分かったことを集めることができる。

〔書く(1)ア、伝国(1)イ(ア)〕

◎観察対象の様子や自分の気づきなどが相手に伝わるように、題名をつけ、工夫して書くことができる。〔書(1)イ〕

◎書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うことができる。

〔書(1)オ〕

日常生活との関連 (別紙)

成果と課題

(成果)

- ・葉や茎、つぼみなど、自分の育てている野菜をじっくり観察する時間をとったことで、観察ポイントを意識して、たくさんの気づきを記録することができた。
- ・普段はあまり見ない部分（土から生えている部分や、葉の付け根、葉の裏側など）を意識して見ることができ、楽しく発見することができた。

(課題)

- ・自分たちで観察したこと（気づいたこと）がたくさんあり、どのような順序で、どこまで詳しく書くのか、考えるのは難しかった。（詳しく伝えたい部分を、どのようにすればいい記録文になるか、支援が必要だった。）

日常生活との関連

- ・野菜や花、生きものなど、身近にあるものを観察し、植物や生きものの変化や成長の様子に関心を持たせる。

	学習活動	自然との関わり
1	生活科での苗植えをふり 返り、野菜の様子について 気付いたことを話し合う。	・農園で作っている野菜の様子について、苗植えから今まで観 察したことについて思い出させる。
2 3	観察記録のメモの仕方 ・ (メモのポイント) につ いて確認する。(色、形、 大きさ、数、触った感じ、 においなど) 観察記録文を書く時に大 切なことを整理する。	・生活科で育てている、トマト・ナス・キュウリ・えだまめ・ ズッキーニなどの様子に触れ、似ているところや違うところに 気づかせる。 ・触った感じ→キュウリ・ズッキーニ・なす・えだまめ ・におい→トマト など
4 10	生活科での学習をヒント ～に、観察するものを決め、 観察記録文を書く。 ①観察する (観察記録のプロになる) ②順序や書き方に気をつけ て書く。	観察のプロになるために、 (1)細かい部分まで丁寧に記録する。 (2)相手に分かるように、詳しく記録する。 (3)動き方やえさの食べ方など、一つ一つ の動きをよく見て記録する。 などに注意して観察するようアドバイスする。
11 13	観察記録文をお互いに読 み、詳しく書けているとこ ろや、分かりやすく書けて いるところ、もう少し知り たいところなどをアドバイ スカードに書く。 アドバイスカードを参考 に、観察記録文を直す。	・形については、比喩表現(～みたいに、～のような)を使っ たり、長さや太さについては身近なもの(～くらい)にたとえ たりすると分かりやすいことを伝える。
14	学習を振り返る。	

色
形
数
大きさ
(長さ・太
さ)